

# 日本語教育でクリティカルシンキングを育てる —21世紀型能力育成を目指したクラスの実現にむけて—

昨今、考える力の育成は教育分野の大きな課題であり、第二言語としての日本語の学習・教育においても「クリティカルシンキング」の必要性・重要性が指摘されています。外国語教育の中でどのような授業を行えば「考える力」をつけることができるのかについて、試行錯誤なさっている先生方も少なくないのではないでしょうか。本研修では、クリティカルシンキングの技術、また、思考力の育成を授業の目標に加えるにあたって、どのような観点から授業を捉え直すべきか考え、現場の改善に活かす道を探ります。

\*\*\*\*\*

**日時:** 2016年12月4日(日)9時30分～16時30分

**会場:** 東京外国語大学留学生日本語教育センター103  
(東京都府中市朝日町3-11-1) [地図・アクセス](#)

**講師:** <sup>みちた やすし</sup>道田 泰司氏(琉球大学)

**コーディネーター:** 石澤徹, 宇佐美洋, ヤン・ジョンヨン(教師研修委員)

**対象:** 日本語の授業にクリティカルシンキングの観点を取り入れようと考えている方。

※可能な限り、研修前日(12/3)に開催する公開講座「[考える力を育てる授業づくり—多様な教育場面での問題共有を目指して—](#)」(於東京外国語大学)にもご参加ください(要別途申込・参加費無料)。

**定員:** 40名(先着順)

**受講料:** 一般 5,000円 / 会員 4,000円 / 大学院生 3,000円

**事前課題:** 日本語の授業の中で、受講者に「クリティカルに考えさせる」ためには、どのような授業実践が有効だと思いますか? そうした授業実践の例を考え、A4版1枚以内にまとめ、11月26日(土)までにメールで提出してください。これまでに行った実践例があれば、その実践例を紹介するための材料(シラバス、授業概要をまとめたもの、ハンドアウトなど)を提出されてもかまいません。

9:30-11:30	趣旨説明、講義「クリティカルシンキングの育成にむけて」
11:30-13:00	昼食休憩、グループワーク準備
13:00-15:30	講義、参加者によるグループワーク / 発表
15:30-16:30	全体を通じてのまとめ・質疑応答、その他

## ～講師からのメッセージ～ 道田 泰司氏

クリティカルシンキングは、21世紀型能力の一つとして、小学校から大学まで求められているところです。皆さんと一緒に、日本語教育におけるクリティカルシンキングの可能性について考えていけたらと思っています。

### <講師プロフィール>



専門は教育心理学。主な著書として、『最強のクリティカルシンキング・マップ—あなたに合った考え方を見つけよう(日本経済新聞出版社)』『クリティカル進化論—『OL進化論』で学ぶ思考の技法—(北大路書房)』『批判的思考と市民リテラシー: 教育, メディア, 社会を変える 21世紀型スキル(誠信書房)』ほか多数。琉球大学教授, 琉球大学附属中学校校長。

11月14日  
締切

### ◆申込方法◆

参加申込書は次ページにあります。記入用にワードファイルが必要な方は下記までお問合せください。申込用紙をメール添付にてお送りください。題名は「12月4日クリティカルシンキング」としてください。申込書が到着次第、折り返しメールで受講料の振込先等をご連絡します。締切は11月14日(月), 定員になり次第、締切前でも募集を終了します。

### <注意事項>

申込書を送っても学会からの返信メールが到着しない場合は書類未着の可能性がございますので、必ずご自身の責任においてご確認ください。事務局対応は平日の9～18時です。週末や夜間の応募は翌日以降となります。本募集に関して集めた個人情報には本研修の実施以外の目的には使用いたしません。応募書類は返却しません。

### ◆申込および問合せ先◆

公益社団法人 日本語教育学会  
教師研修委員会事務局  
E-mail : kyoshikenshu@nkg.or.jp  
TEL: 03-3262-4291  
FAX: 03-5216-7552  
〒101-0065 東京都千代田区西神田  
2-4-1 東方学会新館 2F

【日本語教育学会教師研修委員会宛】 E-mail kyoshikenshu@nkg.or.jp

**「日本語教育でクリティカルシンキングを育てる」**

**(2016年12月4日)参加申込書**

氏名	(漢字)	
	(ローマ字)	
所属・職名	所属:	職名(大学院生は学年):
種別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 日本語教育学会会員 [No.    ] <input type="checkbox"/> 大学院生	
住所	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場	
電話	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 携帯	
FAX	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> なし	
E-mail 携帯アドレス不可	※連絡の基本はEメールとなりますので、間違いがないかご確認ください。	
日本語教育または 言語教育活動経験	(    )年	主な機関 (    ) 主な対象 (    )
1. 受講動機を簡単にお書きください。 2. 「クリティカルシンキングに関して知りたいこと、悩んでいることなど」があれば、お書きください。 (ある場合のみで結構です。複数ある場合は、最も重要なものに○印をつけて下さい) ※分量(文字数等)は問いませんが、応募用紙全体がA4で1枚に収まるようお願いいたします。		
3. この研修コースを何で知りましたか。該当するものに☑をつけてください。 <input type="checkbox"/> (1)学会からのメール <input type="checkbox"/> (2)その他からのメール(    ) <input type="checkbox"/> (3)学会ホームページ <input type="checkbox"/> (4)学会からのチラシ <input type="checkbox"/> (5)学会誌『日本語教育』 <input type="checkbox"/> (6)友人・知人 <input type="checkbox"/> (7)大学・日本語学校等機関(    ) <input type="checkbox"/> (8)その他(    )		
4. 当日研修の様子を記録・広報等の使用目的で写真撮影をいたします。該当するものに☑をつけてください。 →記録・広報用の写真に写ることを <input type="checkbox"/> 承諾する <input type="checkbox"/> 承諾しない		

以上